

# 平成23年度 第4回傷害サーベイランス分科会

日時:平成23年11月10日(木)

9時30分～11時00分

場所:栄区役所 本館4階 2号会議室

## 1 開 会

## 2 議 題

- (1) 栄区セーフコミュニティの今後の展開について ……資料1
- (2) 傷害サーベイランス調査について ……資料2
- (3) 救急隊搬送記録のまとめについて ……資料3

## 3 閉 会

傷害サーベイランス分科会 委員名簿（※出席者）

座長	横浜市健康福祉局健康安全部	理事	水野 哲宏	※
副座長	横浜市立大学大学院 医学研究科・医学部地域看護学教室	教授	田高 悦子	※
委員	栄区医師会	副会長	江口 一彦	
〃	栄歯科医師会	歯科医師	朝廣 賢哲	※
〃	栄共済病院	看護師長	小黒 厚子	※
〃	大妻女子大学家政学部	教授	反町 吉秀	※
〃	栄警察署生活安全課	課長	稲邊 朗	※
〃	横浜市消防局救急課	課長	平中 隆	※
〃	横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課	課長	船山 和志	
〃	栄消防署	係長	内藤 敏彦	※
〃	栄区役所	副区長	山田 雅通	※
〃	栄区福祉保健センター	担当部長	高橋 秀明	※
〃	栄区福祉保健センター福祉保健課	課長	小西 祐子	※

## 栄区セーフコミュニティの今後の展開について

### 1 区民連携の促進について

セーフコミュニティ活動を栄区全体に広げていくため、次のとおり、取組を進めます。

- ・ 分野別分科会ごとの取組に対し、区民参加の拡大をはかります。具体的には、関係機関等に講座や研修、イベントへの参加を広く呼びかけるとともに、分科会傍聴者の公募等を行います。
- ・ セーフコミュニティ認証申請書(案)をホームページ等で公表し、広く区民の意見を聴取し、反映させます。
- ・ ホームページの活用や啓発リーフレット・啓発物品の作成・配布等により、広報の充実をはかります。

### 2 セーフコミュニティ認証申請書の作成に向けて

栄区の重要なテーマである分野別分科会ごとに、課題や取組について議論を深め、中期計画としてとりまとめます。特に、子どもを重点課題と捉え、虐待予防に焦点をあてた取組について検討していきます。

- ・ 内容として、現状と課題(データ)、長期・中期・短期目標(値)、目標達成に向けた取組と達成度の評価指標を記載します。
- ・ セーフコミュニティの再認証が想定される平成29年度を中期目標とし、毎年度、進捗状況の確認と重点課題の検討・見直しを行います。

<参考:分野別分科会のテーマ(23年度)>

- ①災害安全 ②交通安全 ③子ども安全 ④高齢者安全 ⑤スポーツ・余暇安全 ⑥暴力・虐待予防 ⑦自殺予防 ⑧傷害サーベイランス

### 3 セーフコミュニティ認証について

WHO協働センターの新しいガイドラインが公表されました。それによると、新たな指標が追加され、6指標が7指標になりました。また、認証の際の審査項目が明確化(チェックリスト化)されました。

○セーフコミュニティの指標

【指標1】分野の垣根を越えた協働による推進組織がある

【指標2】すべての年齢、性別、環境、状況をカバーする長期的、継続的なプログラムがある

【指標3】ハイリスクグループと環境に着目し、弱者グループの安全性を高めるプログラムがある

【指標4】programs that are based on all available evidence

【指標5】外傷の頻度と原因を記録するプログラムがある

【指標6】プログラム、プロセス、実践の効果をアセスメントする評価基準がある

【指標7】国内および国際的なセーフコミュニティネットワークへ継続的に参加している

## 救急搬送記録データ リスト

項目	内容
傷病者	年齢、性別
要請場所	行政区、大分類(道路、住宅など)、細分類(一般道路、居間、階段など)
部位	ICDコード(頭部、上肢、下肢、手、足など)、大分類
傷害程度	軽症、中等症、重症、重篤(生命の危機)、死亡
取扱有無	有/無(死亡、現場手当、拒否、虚誤報など)
事故種別	交通事故、一般負傷、労働災害、運動競技、自損行為、加害、など
主訴受傷	大分類、※ICDコード: 疾病及び関連保健問題の国際統計分類 (下記表参照)

## 救急隊搬送記録

 交通事故

 一般負傷

 運動競技

 労働災害

 水難事故

 火災

 自然災害

 自損

 加害

## ◇不慮の事故(V01-X59)

## ■交通事故(V01-V99)

歩行者(V01-V09)

自転車乗員(V10-V19)

オートバイ乗員(V20-V29)

オート三輪車乗員(V30-V39)

乗用車乗員(V40-V49)

その他乗員(V50-V59)(V60-V69)(V70-V79)(V80-V89)(V90-V99)

## □不慮の損傷のその他の外因(W00-X59)

## ○転倒・転落(W00-W19)

W01 スリップ, つまづきによる同一平面上での転倒

W10 階段及びステップからの転落及びその上での転倒

## ○機械的な力への曝露(W20-W64)

W20 投げられ又は落下する物体による打撲

W51 他人との衝突

## ●不慮の溺死及び溺水(W65-W74)

W65 浴槽内での溺死及び溺水 W70 自然の水域への転落...

## ○その他の不慮の窒息(W75-W84)

W75 ベッド内での不慮の窒息及び絞首

W79 気道閉塞を生じた食物の誤えん&lt;嚥&gt;&lt;吸引&gt;

## ○電流,放射線並びに極端な気温及び気圧への曝露(W85-W99)

## ●煙, 火及び火炎への曝露(X00-X09)

## ○熱及び高温物質との接触(X10-X19)

## ○有毒動植物との接触(X20-X29)

## ●自然の力への曝露(X30-X39)

## ○有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露(X40-X49)

## ○無理ながんばり, 旅行及び欠乏状態(X50-X57)

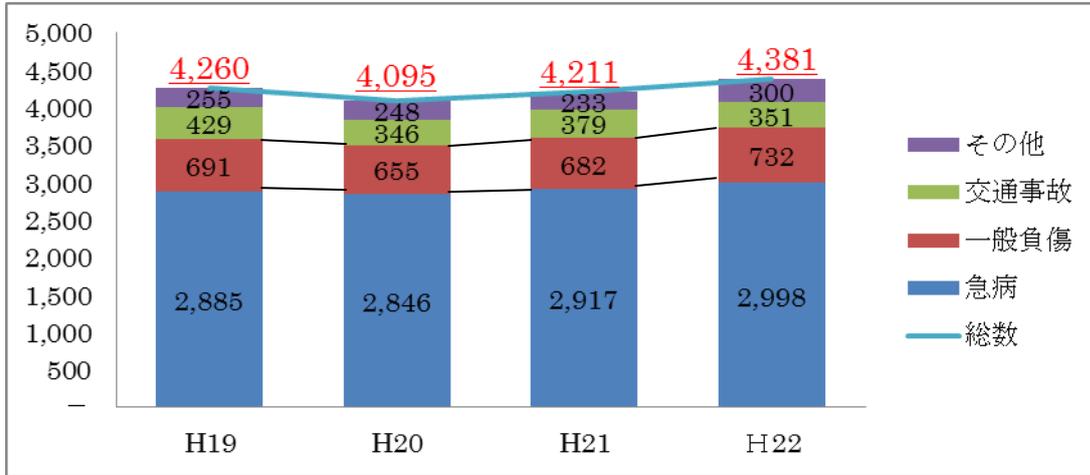
## ◆ 故意の自傷及び自殺(X60-X84)

## ◆ 加害にもとづく傷害及び死亡(X85-Y09)

## ◆ 不慮か故意か決定されない事件(Y10-Y34)

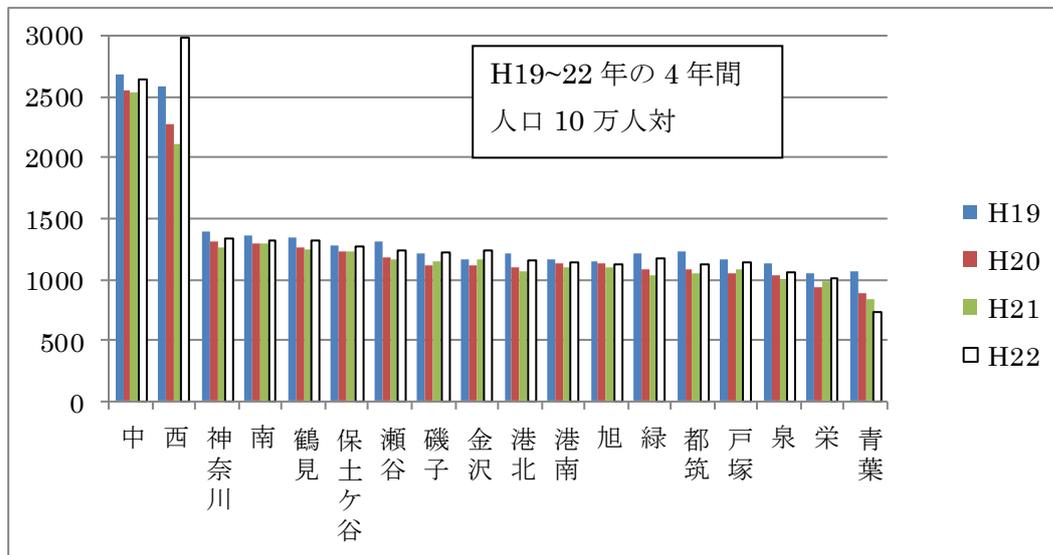
1. 栄区救急車出動件数の経年推移 (H19~22年)

<栄消防署>



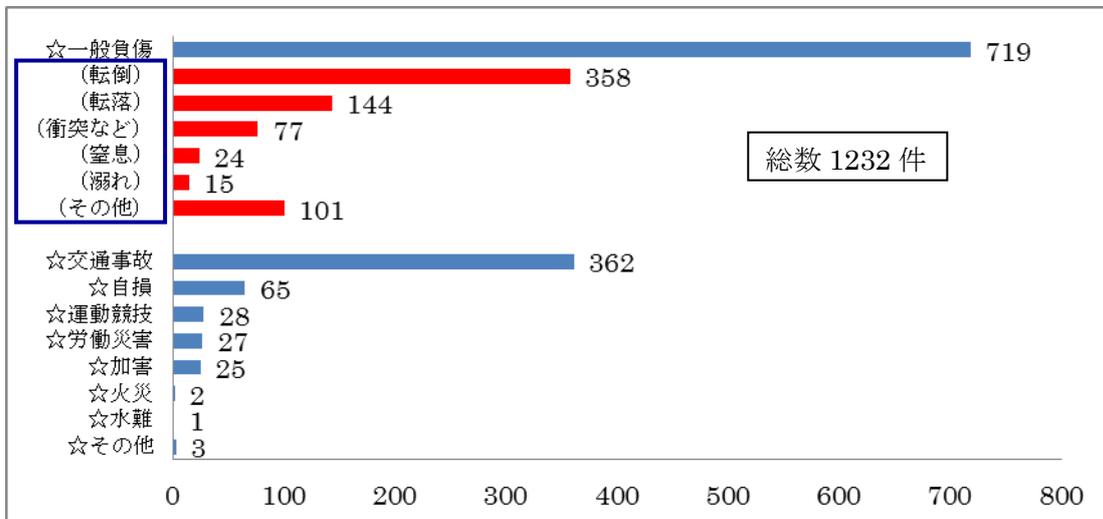
2. 急病を除く傷害関連の救急出動件数区別比較

<消防局救急課データ提供>

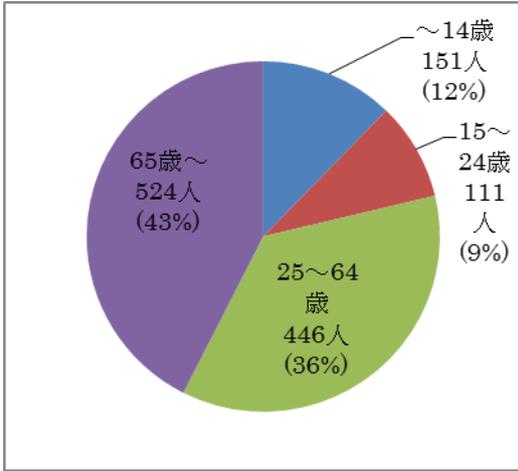


3. 栄区H22年救急隊搬送記録 (一般負傷 ICD10 詳細)

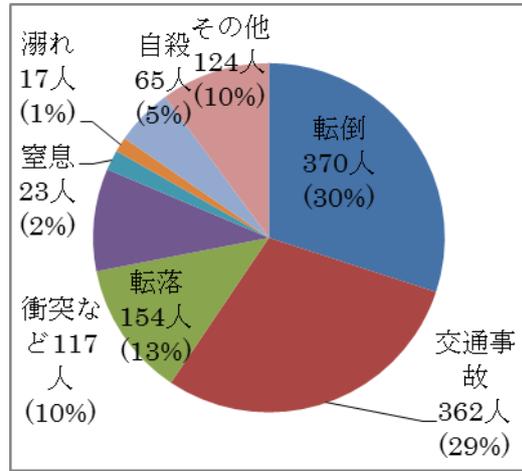
<消防局救急課データ提供>



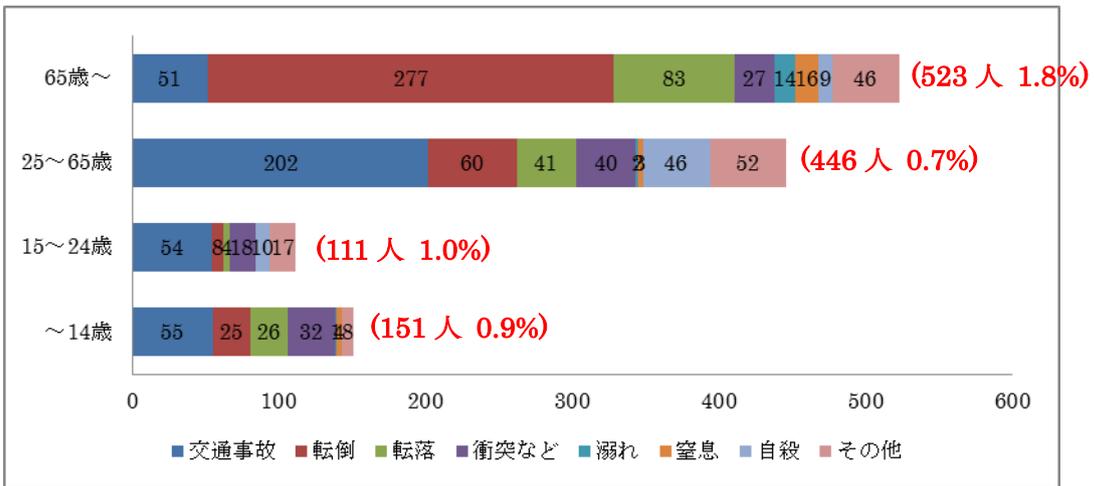
< H22年 総数内訳 > =年齢群別割合=



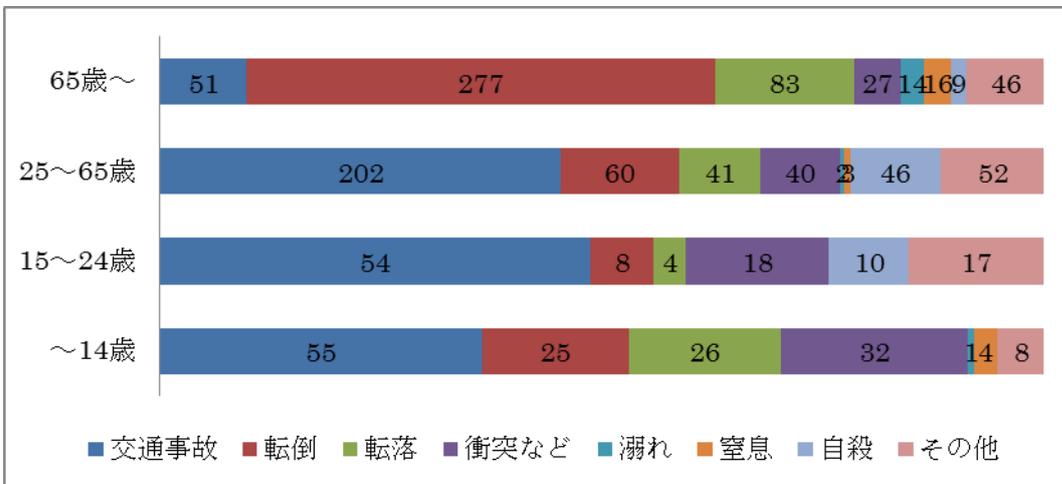
=事故種別割合=



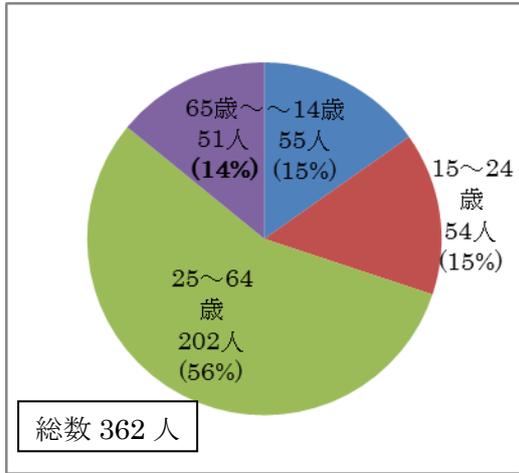
<年齢群別 事故種別 内訳 > (総数 年齢群別人口当たりの利用率)



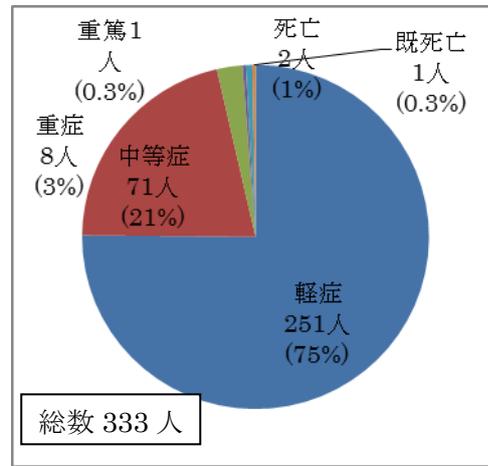
<年齢群別 事故種別 内訳 > (割合)



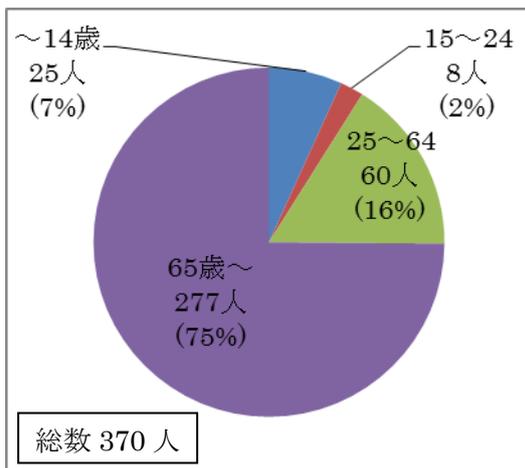
<交通事故> =年齢群別=



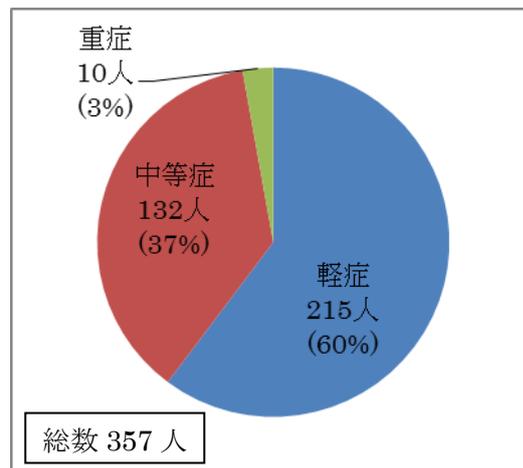
=重症度別=



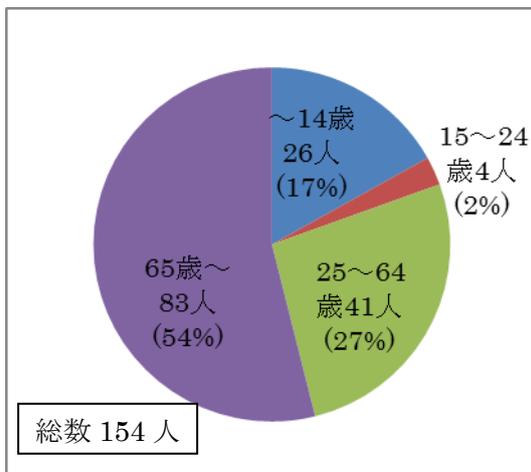
<転倒> =年齢群別=



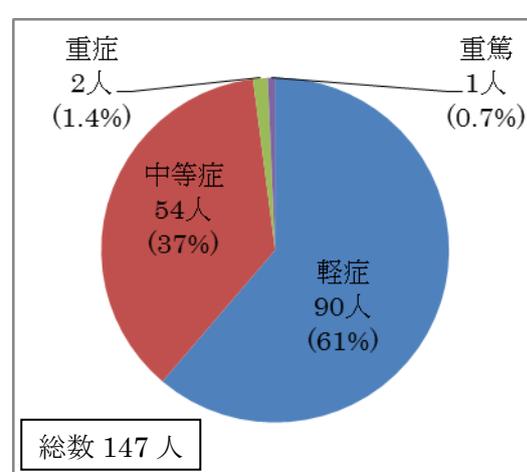
=重症度別=



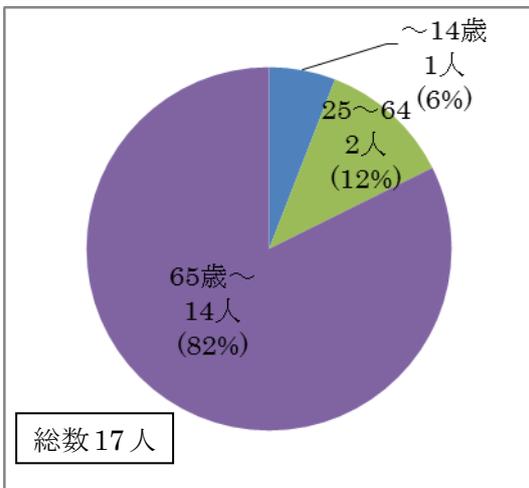
<転落> =年齢群別=



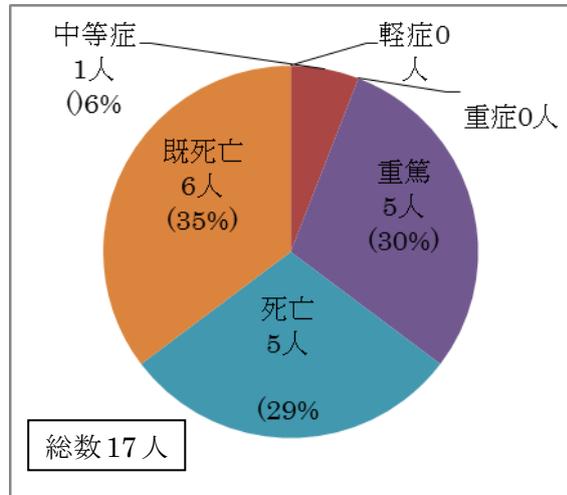
=重症度別=



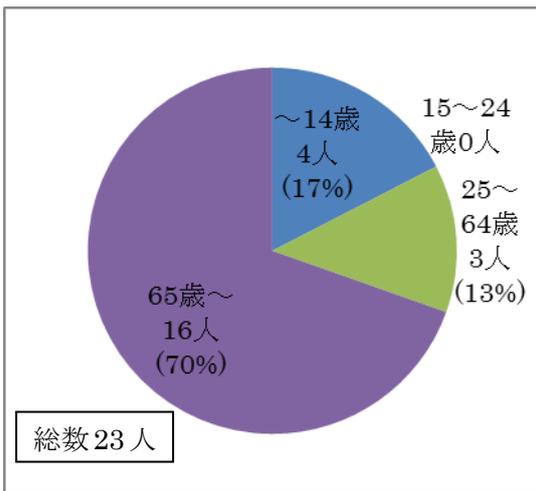
<溺れ> =年齢群別=



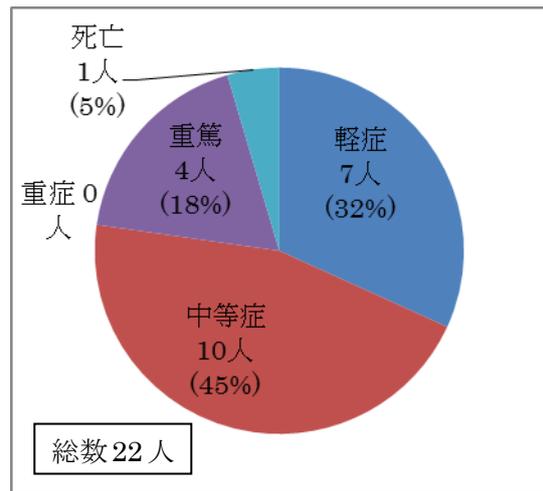
=重症度別=



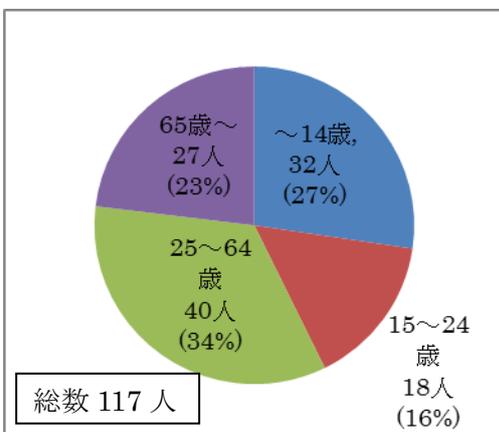
<窒息> =年齢群別=



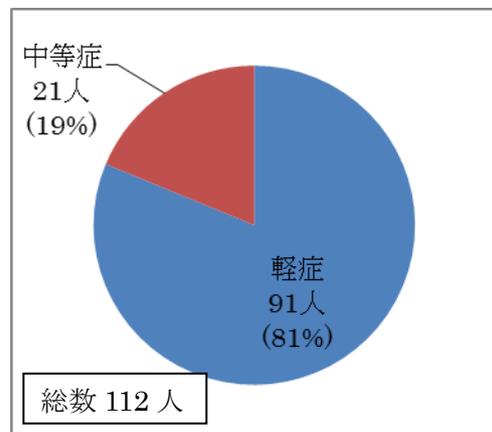
=重症度別=



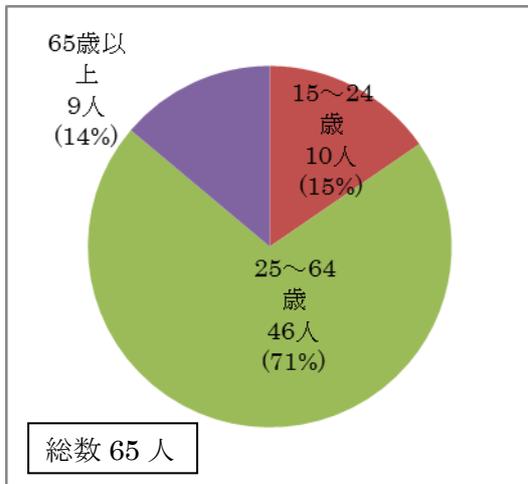
<衝突など> =年齢群別=



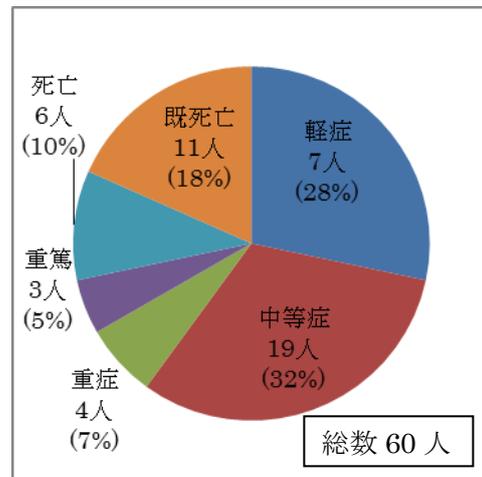
=重症度別=



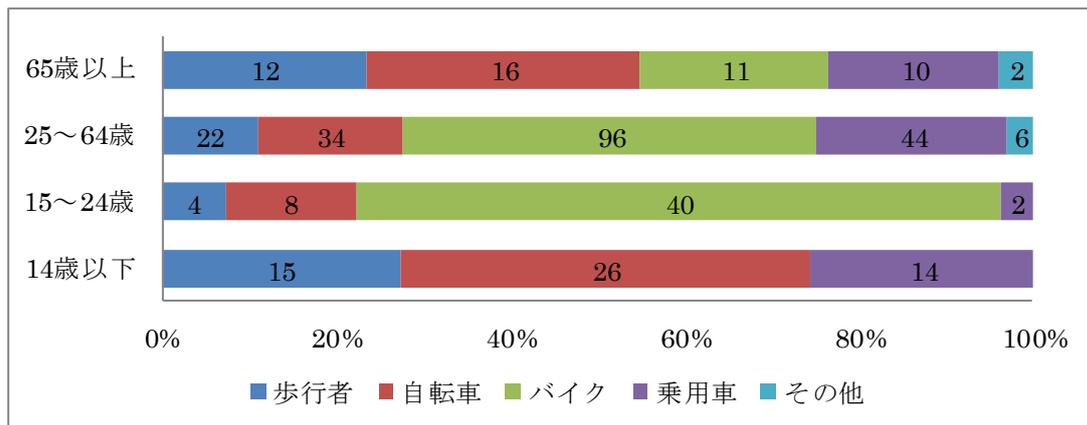
<自殺> =年齢群別=



=重症度別=



<栄区H22年 年齢群別 交通事故内訳>



<栄区H22年 年齢群別発生場所内訳>

